

# 管理ポータル操作ガイド（基本操作編）

## はじめに

本書は、本サービスのシステム管理者が利用する管理ポータルを利用方法について記載したガイドです。

本書の対象読者は以下を想定しています。

- ・本サービスを利用する、お客様のシステム管理者
- ・本サービスを利用する、システムの運用構築を支援するSI担当者

## 管理ポータルでできること

管理ポータルは、下記機能を提供します。

- ・管理ポータルへのログイン
- ・本サービスが提供するAPIを利用するために必要となる基本情報の確認
- ・ユーザ登録
- ・ユーザの役割(ロール)の設定
- ・ベクトル検索サービスの登録単位となる検索インデックスの管理・削除
- ・ベクトル検索サービスへの文書の登録・更新・削除
- ・チャットUIで利用されるプロンプトテンプレートの登録・更新・削除
- ・グループの登録・更新・削除
- ・グループ単位でのインデックス、テンプレートのアクセス制御
- ・テナント単位でのAPI利用状況の確認
- ・テナント単位でのトークン数(入力/出力)利用状況の確認
- ・テナント単位でのインデックス使用量の確認
- ・ベクトル検索ツール用インデックスの作成
- ・本サービスが提供する機能に関する設定情報の管理

本ページでは以下の機能について説明します。

- ・管理ポータルへのログイン
- ・本サービスが提供するAPIを利用するために必要となる基本情報の確認

## 管理ポータルへのログイン

ログイン時の流れと、ログイン操作に表示される各画面のサンプルを掲載します。

## ログイントップ画面

管理ポータルログイン前トップページです。

ログイン ボタンを押下することで、認証画面に遷移します。

# Generative AI 管理ポータル

[ログイン](#)

## 認証画面

管理ポータルの認証画面です。

登録済みユーザのメールアドレスおよびパスワードを入力してログイン ボタンを押下します。

「パスワードを忘れた場合」のリンクからパスワードのリセットが行えます。



NEC

メールアドレスを使用してサインインする

メールアドレス

パスワード

[パスワードを忘れた場合](#)

サインイン

アカウントをお持ちでない場合 [今すぐサインアップ](#)

## テナント選択画面

アカウントに紐づくテナントが表示されます。

操作を行うテナントを選択してください。

選択後、管理ポータルのログイン後のトップページに遷移します。



← キャンセル

**NEC**

■■■■■は複数のテナントに所属  
しています。  
サインインするテナントを選択してください。

D0000001

D0000002

D0000003

続ける

## ログイン後トップページ

テナント選択後、下記の画面へ遷移します。

参照したい/編集したい情報に応じて、左のサイドバーから対象となるコンテンツを選択してください。

- i** 管理ポータルへのログインは最大1日有効です。ログインした状態で一日以上経過した場合、自動でログアウトされます。
- i** ログイン中のユーザの削除または権限変更が行われた場合、直後の操作でログアウトが行われます。



## お知らせ一覧の確認

ログイン後の画面上に各種お知らせを表示します。

お知らせの内容の詳細を確認したい場合は、各お知らせのリンク先をご参照ください。

お知らせ			
日時	内容	種別	参照先リンク
2026-02-16 05:56	これはお知らせサンプルです。 詳細は <a href="https://test.example.com">test.example.com</a> を参照ください。	INFO	<a href="#">参照先リンクその1(外部サイトTOPページ)</a> <a href="#">参照先リンクその2(外部サイト詳細ページ)</a>
2026-02-12 07:46	これはテスト表示です。	TEST	-

## 基本情報の確認











基本情報画面は、ログインを行ったアカウントに紐づく契約情報を表示します。

以下に基本情報 画面の例を掲載します。

### 契約情報

テナントID	D0000001
ベクトル検索の利用	可

## API情報

プライマリ API キー	*****	表示切替  
セカンダリ API キー	*****	表示切替  
Generative AI APIベースURL	https://[redacted]	
チャットボットモジュールURL	https://[redacted]	
チャットサービスURL	<a href="https://[redacted]">https://[redacted]</a> 	
Agentic AI for Search サービスURL	<a href="https://[redacted]">https://[redacted]</a> 	

## 利用可能なLLMモデル一覧

モデル名	モデルID	説明	無効/有効
cotomi v3	cotomi-v3.0	高速・高精度を両立するcotomiモデル	<input checked="" type="checkbox"/>
cotomi Fast	cotomi-fast-v2.0	速度重視のcotomiモデル	<input type="checkbox"/>
cotomi Pro	cotomi-pro-v2.0	精度重視のcotomiモデル	<input checked="" type="checkbox"/>
GPT-5	gpt-5	Azure OpenAI Serviceの提供モデル（デプロイの種類：グローバル標準）	<input checked="" type="checkbox"/>
GPT-5 mini	gpt-5-mini	Azure OpenAI Serviceの提供モデル（デプロイの種類：グローバル標準）	<input checked="" type="checkbox"/>

## 利用可能な埋め込みモデル一覧

モデル名	モデルID	説明
Multilingual E5 Text Embeddings	multilingual-e5-large	インデックスへの文書登録に利用する埋め込みモデル

## セクションの説明

基本情報 画面の各セクションについて説明します

### 契約情報

ご契約いただいた情報を表示します。

表示を行う項目は以下の通りです。

項目名	内容
テナントID	ご契約いただいたテナントIDを表示します。 複数のテナントをご契約いただいて

	いる場合、管理ポータルログイン時に選択したテナントIDを表示します。
ベクトル検索の利用	ご契約時に選択したベクトル検索サービスの利用可否を表示します。  利用可能: 可 利用不可: 不可

## API情報

ご契約いただいた本サービスを使用するための情報を表示します。

表示を行う項目は以下の通りです。

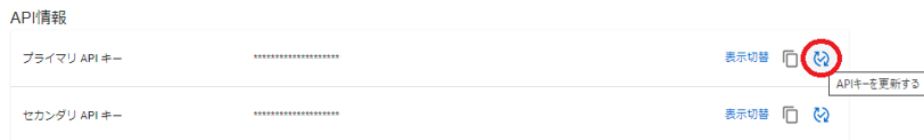
項目名	項目内容
プライマリAPIキー	各API を使用するためのAPIキーを表示します。
セカンダリAPIキー	プライマリAPIキーと同様に、各API を使用するためのAPIキーを表示します。
Generative AI APIベースURL	本サービスが提供するチャットAPIのベースURLを表示します。  詳細はOpenAI API利用チュートリアルまたは チャット部品組込みガイドをご参照ください。
チャットボットモジュールURL	チャットボットを利用するためのURLを表示します。  詳細は チャット部品組込みガイドをご参照ください。
チャットサービスURL	本サービスが提供するチャット画面のURLを表示します。  詳細は チャット画面利用ガイドをご参照ください。
Agentic AI for Search サービスURL	本サービスが提供するAgentic AI for Search サービスの画面のURLを

表示します。

ベクトル検索サービスをご利用になっていない場合、本情報は表示されません。

## APIキー更新

基本情報画面ではプライマリAPIキーとセカンダリAPIキーが表示されており、更新ボタンを押すことでAPIキーを更新することができます。



## 更新の仕様

更新ボタンを押すとAPIキーが更新され、更新ボタン押下前のAPIキーは即座に無効になります。

**i** APIキーの変更を行った場合、古いAPIキーを使用しているサービスは利用できなくなります。更新前に戻すことはできません。

プライマリAPIキーとセカンダリAPIキーを使い、順次APIキーを変更するための手順の例を以下に示します。

### 1. 既存のAPIキーの確認

- 1.1 お客様の環境でAPIの設定箇所を開きます。
- 1.2 現在設定されているAPIキーが、プライマリAPIキーまたはセカンダリAPIキーのどちらであるか確認してください。

### 2. 更新するAPIキーの選択

- 2.1 管理ポータルにログインします。
- 2.2 基本情報ページを表示します。

2.3 API情報セクションのプライマリAPIキーとセカンダリAPIキーの「表示切替」をクリックします。

2.4 手順1.2で確認した現在使用中のAPIキーとは別のAPIキーを更新します。

2.5 再度「表示切替」をクリックし、APIキーが正しく更新できているか確認してください。

### 3. APIキーの設定変更

更新した新しいAPIキーを、お客様のサービスに適用します。

### 4. 古いキーの更新

4.1 管理ポータルにログインします。

4.2 基本情報ページを表示します。

4.3 API情報セクションのプライマリAPIキーとセカンダリAPIキーの「表示切替」をクリックします。

4.4 設定から外れたAPIキーを更新します。上記の例であれば、プライマリAPIキーを更新します。

4.5 再度「表示切替」をクリックし、APIキーが正しく更新できているか確認してください。

## 利用可能なLLMモデル一覧

ご契約内容に応じた利用可能なLLM のモデルを表示します。

**i** 当該項目にはご契約内容に応じたLLMのモデルが表示されます。

利用可能なLLMモデルについては「本サービスで利用可能なLLM」をご参照ください。

### 利用可能なLLMの制御

**i** 当該操作を行うためのボタンは組織管理者権限を持つユーザーのみ表示されます。

基本情報画面では、トグルスイッチを切り替えることによってLLMモデルの有効/無効を切り替えることができます。

無効化したモデルは、チャット画面で選択できなくなります。

モデル名	モデルID	説明	無効/有効
cotomi v3	cotomi-v3.0	高速・高精度を両立するcotomiモデル	

## 利用可能な埋め込みモデル一覧

利用可能な埋め込みモデルについては「本サービスで利用可能なLLM」をご参照ください。